

源姓

家紋

四ッ目結
梅鉢

河嶋

本名佐々木

高三百俵

近江國住人佐々木大炊頭高宗二代の孫
佐々木四郎兵衛高重長男

重綱

河嶋八右衛門

佐々木大炊頭より代々跡目相続丹後国に
住居

東照宮御内々重綱御存知遊され其上太閤秀吉
の五奉行長東大蔵大輔と申者元佐々木
大炊頭家来故其筋目を以て大蔵大輔
佐々木一家へ疎略せさるゆへ大蔵大輔方へ
御内證の事共命せらる其後大坂夏御陣
の刻京極侍従名代として度々河内國
溯乘へ赴しき時

東照宮召させられ御懇の命を蒙りその上御隠
蜜御使命せられ森右近太夫石川主殿頭
陣所へ罷越右の段申達すへく旨 上意
により則罷越申達す且御陣治りなは早速
召出さるへき御内意も有之に無程
御他界遊はされしにより御代替御席を相
待しに寛永十五 寅 年七月六日死六十五歳
駒込蓮光寺に葬る

重當

トウ

河嶋八右衛門

延宝七 未 年九月廿三日桜田御殿にを以て
新規召出され小十人組廩米百俵三人扶持
○元禄五 申 年六月十九日死同寺に葬る

以下略